

景観によるまちの魅力づくりを学びませんか

景観まちづくりの取り組みをより多くの皆さんに知っていただき、まちの魅力を高める活動に生かせるよう、景観まちづくりフォーラムを開催します。ぜひご覧ください。

■とき：2月3日(出13時30分～15時)
■ところ：江釣子シヨッピングセンター1階3階ジョイスタジオ

■内容：きたかみ景観資産認定式II 鳩岡崎親水公園(ビオトープ)、北上市景観賞表彰式II ひだまり北上女子大学「たちばな」もも園、景観まちづくり実践発表II 北上駅西口ワエルネスプラザ事業グループ/案内サイン創造フークシヨップチーム、早稲田大学創造理工学部教授の古谷誠章氏と弘前大学特任教授・北上市景観審議会会長の北原啓司氏によるトークショー「景観と建築」まちの魅力を高めるための工夫と実践」



鳩岡崎親水公園

景観まちづくりパネル&模型展

きたかみ景観資産119カ所と北上市景観賞受賞物件の写真パネル、専修

一般競争入札を行います

■とき：3月6日(水)10時～(受け付けは9時)
■ところ：市本庁舎5階第1会議室

■申し込み：2月16日(金)までに左記表の各担当課へ
※詳しくは市のホームページをご確認ください。

■入札保証金の詳細
・一般競争入札に参加する際は、2月29日(木)までに入札保証金の納入が必要です。

■入札保証金の金額は、最低入札価格

消防車両の売り払い

不用になった消防車両全6台を競争入札で売却します。

■とき：2月9日(金)10時～

■ところ：市本庁舎5階第1会議室

■対象：市内在住の個人または市内に営業所などがある法人

■申し込み：2月2日(金)までに申込書に必要書類を添えて直接または郵送(〒0241-8501住所記載不要、必着)で財政課へ
※申込書や入札説明書などは同課で配布するほか、市のホームページからもダウンロードできます。

■問い合わせ：財政課 ☎721-82262



子育て世帯を支援する税の制度が始まりました

国民健康保険の被保険者が出産する(した)際、その年度に納める国保税の出産者分の所得割額と均等割額が、令和6年1月から免除されます。国保税の減額を受けるためには世帯主からの届け出が必要です。

■対象者：国民健康保険に加入しており、令和5年11月以降に出産したまたは予定の人

※妊娠85日(4カ月)以上の出産で、死産・流産・早産・人工妊娠中絶の場合も含まれます。

■対象期間：出産予定月(出産月)の前月から数えて4カ月、多胎妊娠の場合

事業者の利便性を高めます

電子契約を導入

紙による契約書の作成業務を省くことで契約事業者の負担を軽減するため、電子契約システムを導入し、オンラインでの契約を始めます。

■対象：財政課が窓口となる契約

■導入時期：2月以降

※詳しくは市のホームページをご覧ください。

■問い合わせ：財政課 ☎721-82262



市有財産(土地)の売却

■とき：3月6日(水)10時～(受け付けは9時)
■ところ：市本庁舎5階第1会議室

■申し込み：2月16日(金)までに左記表の各担当課へ
※詳しくは市のホームページをご確認ください。

■入札保証金の詳細
・一般競争入札に参加する際は、2月29日(木)までに入札保証金の納入が必要です。

■入札保証金の金額は、最低入札価格

売却する土地の概要

所在地	地目・面積	担当課
下江釣子12地割108番17	宅地 1,750.54㎡	資産経営課
和賀町長沼5地割130、130番5	学校用地 1,139.20㎡	
和賀町横川目13地割10番4	学校用地 155.56㎡	
和賀町山口26地割14番1	宅地 1,321.61㎡	都市計画課
下鬼柳17地割180番65ほか2筆	宅地・原野 6,069.54㎡	
下鬼柳17地割180番80	宅地 394.71㎡	
下鬼柳17地割180番81	宅地 355.66㎡	
下鬼柳17地割180番82	宅地 335.66㎡	

お元氣ですか市長です。①

北上市長 八重樫浩文



明けましておめでとうございます。市民の皆さんのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。
令和6年が始まりました。辰年生まれの方は、今年2月に還暦を迎えました。区切りの良いところで本コーナー「お元氣ですか市長です。」を始めます。

最初のテーマは「人口減少・少子化」です。当市の人口は、平成17年国勢調査時の9万4321人をピークに減傾向(だんだんに減ること)で、直近では9万1584人(令和5年11月末住民基本台帳)。歴代市政の企業誘致政策などにより、市内から市外に転出する「社会減」を市外から市内に転入する「社会増」で補い、かつ自然増(お亡くなりになる市民より生まれる市民が多いこと)もあったのですが、近年は少子化で自然減となり、トータルでは年々人口が減少しています。出生数は、平成13年度は1033人だったのが、令和4年度では511人と半

分以下に。こうした傾向は、日本全体、岩手全体で続くものであるため、国政、県政、市政とも人口減少・少子化対策が大きな課題です。この課題に対応するため、当市では国や県と連携しながら、結婚から子育てに至る過程でさまざまな施策を実施しています。例えば、i-1サポートによる結婚支援のほか、子どもの医療費助成の拡充や当市の独自施策である多子世帯応援給付金、第二子以降の保育料無償化(県事業)に加えた第一子保育料の半額補助などです。また、新年度からは結婚新生活支援金制度(最大60万円)も始めるべく準備しています。

一方、シニア世代も生き生きと暮らし健康寿命を伸ばせるよう、保健事業と介護予防の一体的実施や健康福祉ポイント制度などを推進しています。市民の皆さん、若者男女が安心して北上に住み続けられるよう、「住みよい北上、住みたい北上」を目指して市政にまい進してまいります。